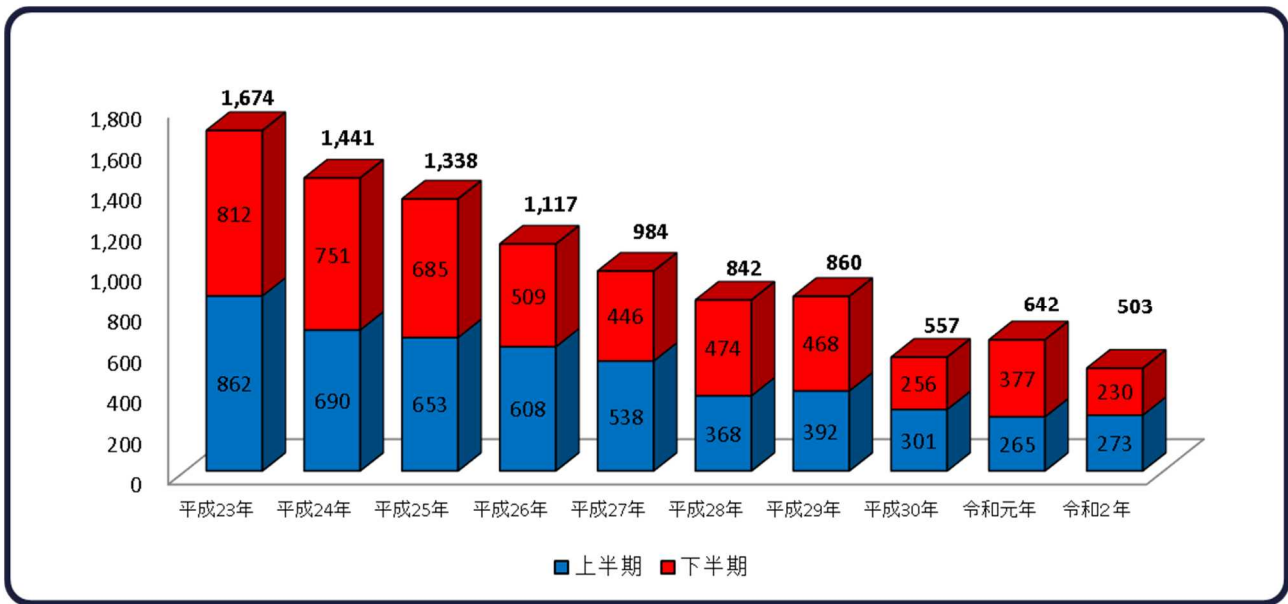


忍込みの分析結果(令和2年中)

1 発生状況

(1) 千葉県における認知件数の推移(平成23年～令和2年)



忍込みの認知件数は、平成23年以降おおむね減少傾向にあり、令和2年中は、503件で前年同期と比べて139件(約21.7%)減少している。

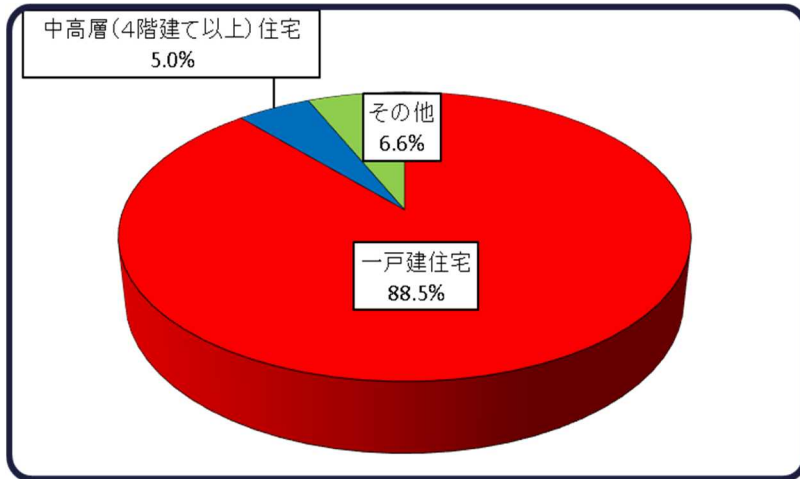
(2) 各年中の全国及び千葉県における認知件数の推移(平成23年～令和2年)



平成23年以降、全国的には減少傾向にあり、平成23年に比べ、令和2年は約63.8%減少、前年同期比では1,979件(25.0%)減少となった。

県内では、若干の増減を繰り返しており、平成23年に比べ、令和2年は約70.0%減少、前年同期比では、139件(約21.7%)減少となった。

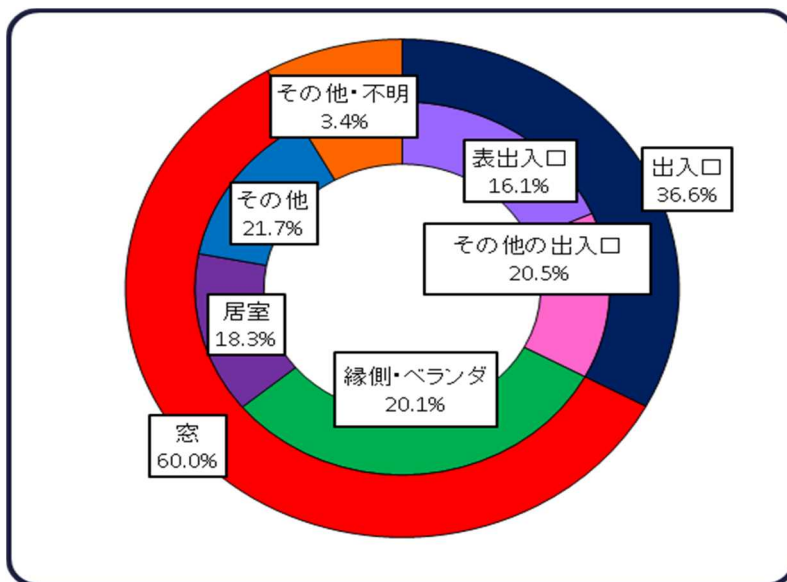
2 発生場所



約9割が一戸建て住宅で発生している。中高層住宅での発生は僅かである。

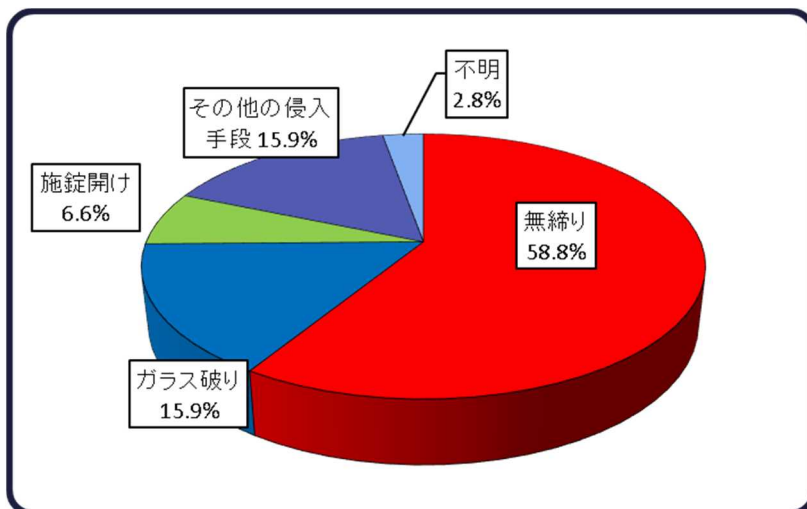
その他とは、3階建て以下の共同住宅や長屋建て住宅、テラスハウスなどの住宅をいう。

3 侵入口



出入口からの侵入が約4割、窓からの侵入が約6割となっている。

4 侵入手段



約6割が無施錠箇所からの侵入である。

次いで約2割がガラス破りである。

合い鍵・サムターン回し等の施錠開けによる侵入は僅かであるが、依然として発生している。

【忍込み発生署別認知件数(令和2年中)】

